

♪ 研修会参加記 ♪

研修会に参加して

川野 真樹

7月20日、21日と第14回日赤図書室研修会・総会に今回始めて参加しました。病院図書室に勤務し9ヶ月、未だに病院図書室の日常業務でも“?”が連発している状態の私にとって、今回の日赤図書室の研修会への参加は日頃の“?”を解消できる機会になるかもといった期待を抱きつつの参加でした。今回の参加でまず会議室に多くの関係者が集まっていること、そして座った席の隣が旭川赤十字病院、後ろが沖縄赤十字病院図書室の方だったこともあり、改めて日本赤十字社の規模の大きさを感じました。

一日目は日赤の各病院図書室からの電子ジャーナルに関係する事例報告でした。まだ京都第二赤十字病院図書室(当室)では有料の電子ジャーナルを導入していませんが、スタッフから導入して欲しいという要望を聞いていることもあり当室で今後、電子ジャーナルを扱うとすればどうすればよいか参考になる意見を聞くことができました。特に前橋赤十字病院の報告は7月から当室でもトライアルを始めたメディカルオンラインについて、実際の運用に至る経緯や利用状況が聞け、大変参考になりました。事例報告後のグループ討議では文献複写や資料の購入についてなど日常業務についての活発な意見交換の場となり、一人職場の私にとって良い刺激を受けることが

できました。

二日目の公開講座では医師、セーフティマネージャー、医科大学図書館員からの講義と、盛り沢山の内容でした。中でも池谷先生の講義では、“病院図書室は情報の流通の点で常に有益な情報に対してアンテナをのばし、収集した情報を速やかに提供できるように努力しなければならない”ということ強く考えさせられました。また、当図書室でも今年5月から患者図書コーナーをオープンしたところでしたので、郡司先生の「医療施設における図書室機能の新たな展開」はとても興味深い講義でした。特に講義の中で患者図書室普及活動についての話が聞け、今後の患者図書室の活動に希望を見出すことができ業務の励みになりました。

今回の研修会・総会は私にとっては初めてのづくしの経験で、2日間ともに熱い報告や講義に接し、あっという間に終了となりました。京都に帰ってから“研修会で得た知識・情報をどう活用していこう?”と今度はまた、新たな“?”を持ちましたが、この研修会で得られた知識・情報・人とのネットワークを今後の仕事に活かしていきたいと思っています。まだまだ“?”を連発していますがこれからより充実した図書室にするために日赤図書室協議会で勉強したことを参考にして少しでも“?”が“!”に変化できるよう頑張りたいと思います。

KAWANO Maki

京都第二赤十字病院 図書室

tosho@kyoto 2.jrc.or.jp